

# 2024年度就職先企業等に対する 調査報告書

南山大学

## 調査実施概要

- ▷調査趣旨：本学が学生に対して在学中に身につけさせる学力や資質・能力および養成しようとする人材像に照らして、卒業生の就職・進学状況等から教育の成果や効果を検証する。
- ▷実施対象：2021年度卒業生（2022年3月卒）の就職先企業・公的機関 100社
- ▷実施方法：Webページ受付フォームによるアンケート調査
- ▷実施期間：2024年5月1日（水）～5月31日（金）
- ▷回答数：46件（回答率46.0%）

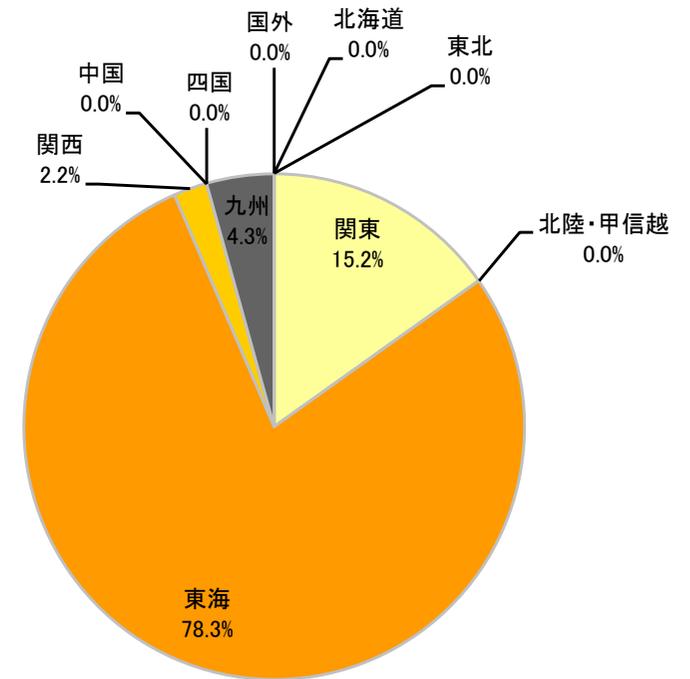


## 目次

▷回答者の基本属性(本社所在地、業種、規模)	…	4~6
▷採用時に重視する能力	…	7
▷南山大学が重視する能力がどの程度身についているか	…	8~9
▷卒業生は社会人基礎力がどれくらい身についているか	…	10~11

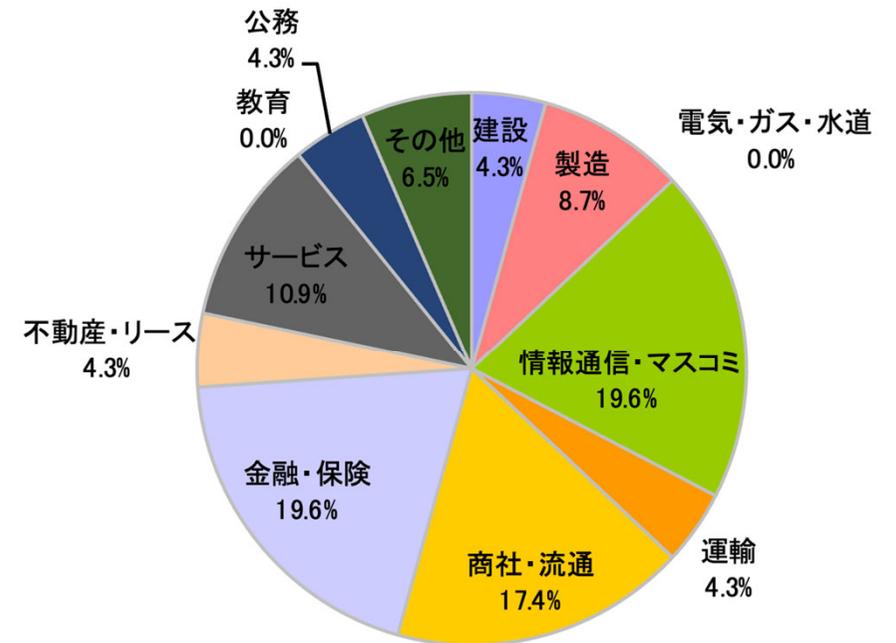
## 回答者の基本属性 [本社所在地]

		回答者数 (人)	構成比 (%)
【2024年】全体		46	100.0%
本社所在地	北海道	0	—%
	東北	0	—%
	関東	7	15.2%
	北陸・甲信越	0	—%
	東海	36	78.3%
	関西	1	2.2%
	中国	0	—%
	四国	0	—%
	九州	2	4.3%
	国外	0	—%



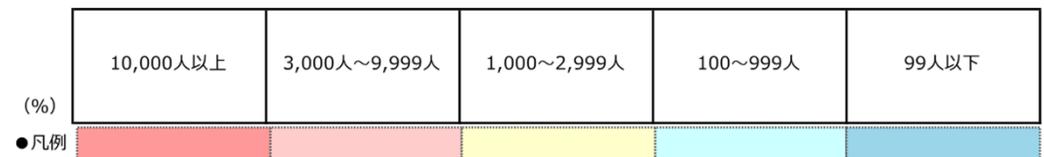
## 回答者の基本属性 [業種]

		回答者数 (人)	構成比 (%)
【2024年】全体		46	100.0%
業種	建設	2	4.3%
	製造	4	8.7%
	電気・ガス・水道	0	—%
	情報通信・マスコミ	9	19.6%
	運輸	2	4.3%
	商社・流通	8	17.4%
	金融・保険	9	19.6%
	不動産・リース	2	4.3%
	サービス	5	10.9%
	教育	0	—%
	公務	2	4.3%
	その他	3	6.5%



## 回答者の基本属性 [規模]

		回答者数 (人)	構成比 (%)
【2024年】全体		46	100.0%
規模	10,000人以上	8	17.4%
	3,000人~9,999人	12	26.1%
	1,000~2,999人	15	32.6%
	100~999人	11	23.9%



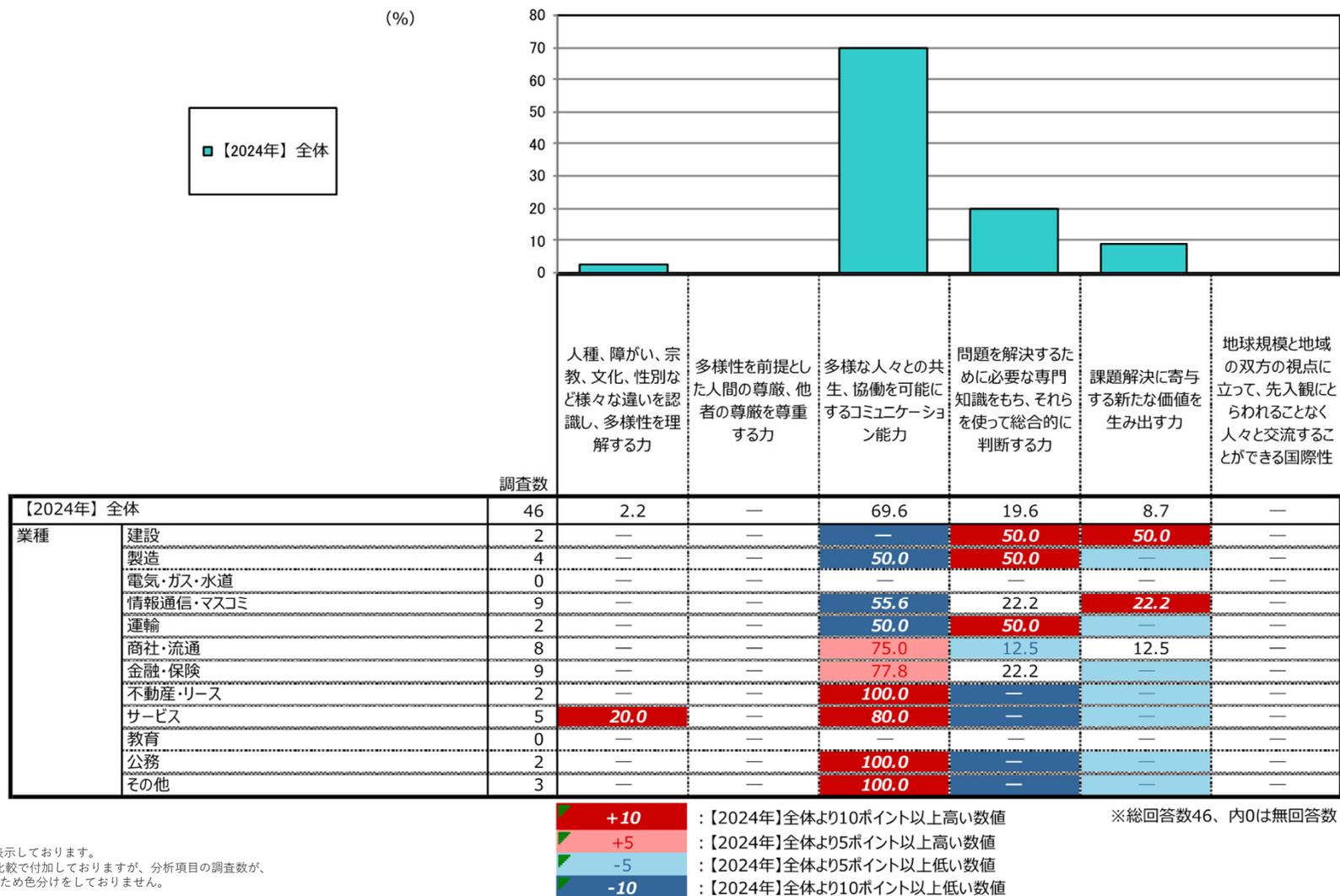
【2024年】全体		(n= 46)	10,000人以上	3,000人~9,999人	1,000~2,999人	100~999人	99人以下
業種	建設	(n= 2)	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	製造	(n= 4)	25.0	25.0	50.0	0.0	0.0
	電気・ガス・水道	(n= 0)	-	-	-	-	-
	情報通信・マスコミ	(n= 9)	11.1	22.2	33.3	33.3	0.0
	運輸	(n= 2)	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	商社・流通	(n= 8)	25.0	12.5	62.5	0.0	0.0
	金融・保険	(n= 9)	22.2	66.7	11.1	0.0	0.0
	不動産・リース	(n= 2)	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	サービス	(n= 5)	40.0	60.0	0.0	0.0	0.0
	教育	(n= 0)	-	-	-	-	-
	公務	(n= 2)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	(n= 3)	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0

※総回答数46、内0は無回答数

## 採用時に重視する能力

本学が掲げる5つのディプロマ・ポリシー（DP）のうち、採用時に最も重視する能力を一つ選択してもらった。数値の高い順で以下となった。

- 1位：多様な人々との共生、協働を可能にするコミュニケーション能力 69.6%
- 2位：問題を解決するために必要な専門知識をもち、それらを使って総合的に判断する力 19.6%
- 3位：課題解決に寄与する新たな価値を生み出す力 8.7%



数表、グラフの「0」は「-」で表示しております。  
また、数表の色分けは全体との比較で付加しておりますが、分析項目の調査数が、「0」の場合、比較はしていないため色分けをしておりません。

## 南山大学が重視する能力がどの程度身についているか

卒業生は本学のディプロマ・ポリシー（DP）がどの程度身についているか、各項目5段階評価で回答してもらった。

「身についている」「ある程度身についている」の数値が高い順に以下となった。

1位：多様な人々との共生、協働を可能にするコミュニケーション能力 95.7%

2位：多様性を前提とした人間の尊厳、他者の尊厳を尊重する力 および 課題解決に寄与する新たな価値を生み出す力 93.5%

3位：人種、障がい、宗教、文化、性別など様々な違いを認識し、多様性を理解する力 91.3%

4位：問題を解決するために必要な専門知識をもち、それらを使って総合的に判断する力 82.6%

5位：地球規模と地域の双方の視点に立って、先入観にとらわれることなく人々と交流する国際性 67.4%

	(%)	身についている・計		どちらとも言えない	身についていない・計		身についている・計	身についていない・計	加重平均値 (点)
		身についている (5点)	ある程度身についている (4点)		あまり身についていない (2点)	身についていない (1点)			
●凡例									
1.人種、障がい、宗教、文化、性別など様々な違いを認識し、多様性を理解する力	(n= 46)	37.0	54.3	8.7	91.3	—	4.28		
2.多様性を前提とした人間の尊厳、他者の尊厳を尊重する力	(n= 46)	47.8	45.7	6.5	93.5	—	4.41		
3.多様な人々との共生、協働を可能にするコミュニケーション能力	(n= 46)	41.3	54.3	4.3	95.7	—	4.37		
4.問題を解決するために必要な専門知識をもち、それらを使って総合的に判断する力	(n= 46)	21.7	60.9	17.4	82.6	—	4.04		
5.課題解決に寄与する新たな価値を生み出す力	(n= 46)	23.9	69.6	6.5	93.5	—	4.17		
6.地球規模と地域の双方の視点に立って、先入観にとらわれることなく人々と交流することができる国際性	(n= 46)	21.7	45.7	30.4	2.2	67.4	2.2	3.87	

※総回答数46、内0は無回答数

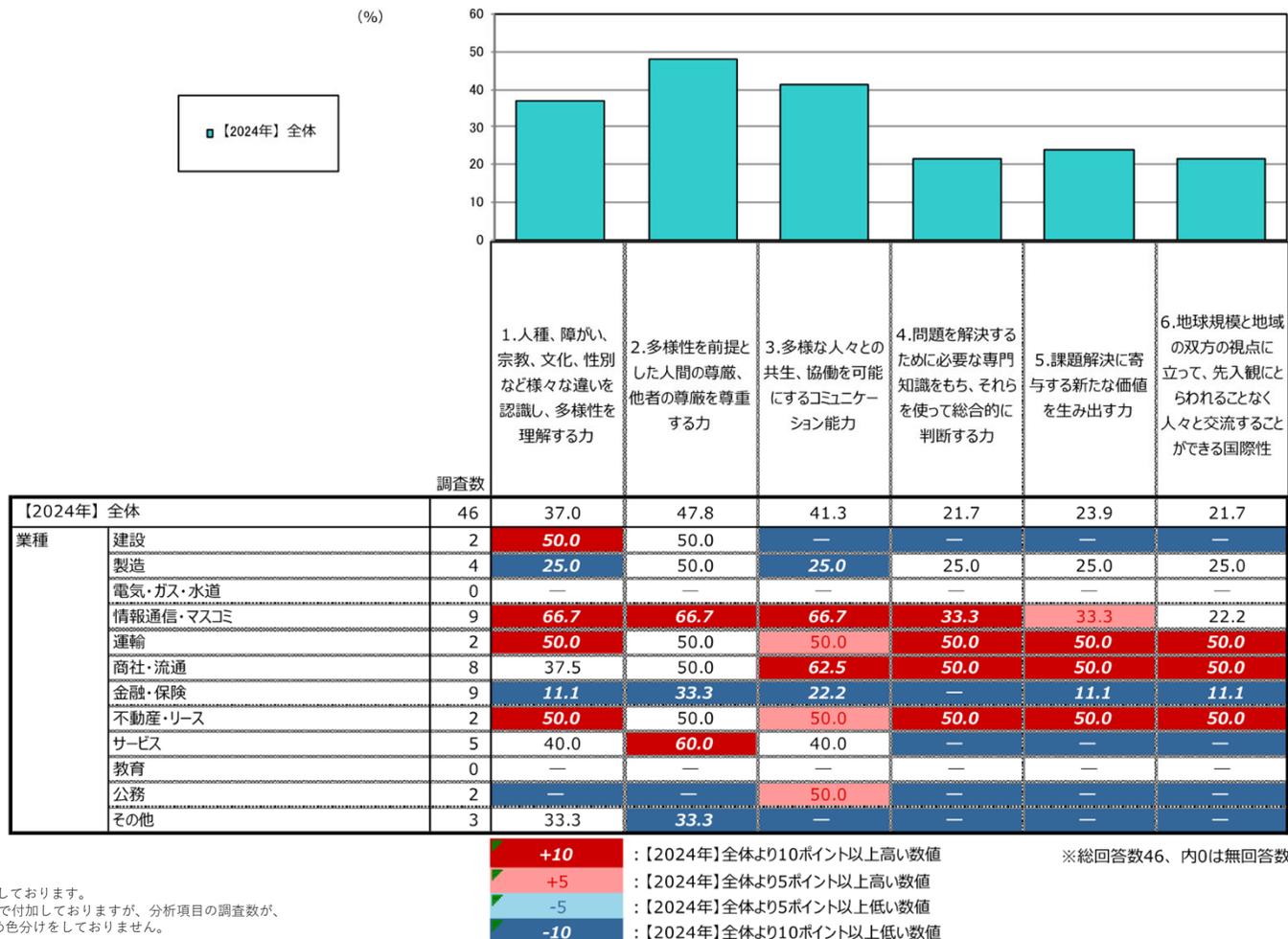
## 南山大学が重視する能力がどの程度身についているか

5段階評価のうち「身についている」と回答した者の全体および業種ごとの割合を示した。数値（全体）の高い順に以下となった。

- 1位：多様性を前提とした人間の尊厳、他者の尊厳を尊重する力 47.8%
- 2位：多様な人々との共生、協働を可能にするコミュニケーション能力 41.3%
- 3位：人種、障がい、宗教、文化、性別など様々な違いを認識し、多様性を理解する力 37.0%
- 4位：課題解決に寄与する新たな価値を生み出す力 23.9%
- 5位：問題を解決するために必要な専門知識をもち、それらを使って総合的に判断する力 および 地球規模と地域の双方の視点に立って、先入観にとらわれることなく人々と交流する国際性 21.7%

選択肢の最上位を選んだ回答者が全体の何%か算出した数字。

### Top1(身についている)回答



数表、グラフの「0」は「-」で表示しております。  
 また、数表の色分けは全体との比較で付加しておりますが、分析項目の調査数が、「0」の場合、比較はしていないため色分けをしておりません。

## 卒業生は社会人基礎力がどれくらい身につくのか

社会人基礎力について卒業生の各能力の習得度を各項目5段階評価で回答してもらった。「高い」「やや高い」の数値が高い順に以下となった。

1位：自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力（状況把握力） 91.3%

2位：物事に進んで取り組む力（主体性） 89.1%

3位：目的を設定し確実に行動する力（実行力）、自分の意見をわかりやすく伝える力（発信力）、相手の意見を丁寧に聴く力（傾聴力）、意見の違いや立場を理解する力（柔軟性）、他の人と協力して物事を進行する能力（チームワーク力） 87.0%

4位：課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力（計画力）、社会のルールや人との約束を守る力（規律性） 84.8%

5位：現状を分析し目的や課題を明らかにする力（課題発見力） 82.6%

		高い・計		どちらとも言えない	低い・計		高い・計	低い・計	加重平均値 (点)
		高い (5点)	やや高い (4点)		やや低い (2点)	低い (1点)			
	(%)								
	●凡例								
1.物事に進んで取り組む力（主体性）	(n= 46)	43.5	45.7	10.9	89.1	—	4.33		
2.他人に働きかけ巻き込む力（働きかけ力）	(n= 46)	23.9	56.5	17.4	2.2	80.4	2.2	4.02	
3.目的を設定し確実に行動する力（実行力）	(n= 46)	32.6	54.3	13.0	87.0	—	4.20		
4.現状を分析し目的や課題を明らかにする力（課題発見力）	(n= 46)	32.6	50.0	15.2	2.2	82.6	2.2	4.13	
5.課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力（計画力）	(n= 46)	23.9	60.9	15.2	84.8	—	4.09		
6.新しい価値を生み出す力（創造力）	(n= 46)	21.7	39.1	39.1	60.9	—	3.83		
7.自分の意見をわかりやすく伝える力（発信力）	(n= 46)	32.6	54.3	13.0	87.0	—	4.20		
8.相手の意見を丁寧に聴く力（傾聴力）	(n= 46)	50.0	37.0	13.0	87.0	—	4.37		
9.意見の違いや立場を理解する力（柔軟性）	(n= 46)	45.7	41.3	13.0	87.0	—	4.33		
10.社会のルールや人との約束を守る力（規律性）	(n= 46)	47.8	37.0	13.0	2.2	84.8	2.2	4.30	
11.自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力（状況把握力）	(n= 46)	39.1	52.2	8.7	91.3	—	4.30		
12.ストレスの発生源に対応する力（ストレスコントロール力）	(n= 46)	19.6	50.0	30.4	69.6	—	3.89		
13.批判的に考える力（クリティカル・シンキング）	(n= 46)	13.0	45.7	41.3	58.7	—	3.72		
14.自分の強みを活かし仲間と協働して目標を達成する能力（リーダーシップ力）	(n= 46)	23.9	52.2	21.7	2.2	76.1	2.2	3.98	
15.他の人と協力して物事を遂行する能力（チームワーク力）	(n= 46)	39.1	47.8	13.0	87.0	—	4.26		

数表、グラフの「0」は「-」で表示しております。  
また、数表の色分けは全体との比較で付加しておりますが、分析項目の調査数が「0」の場合、比較はしていないため色分けをしておりません。

※総回答数46、内0は無回答数

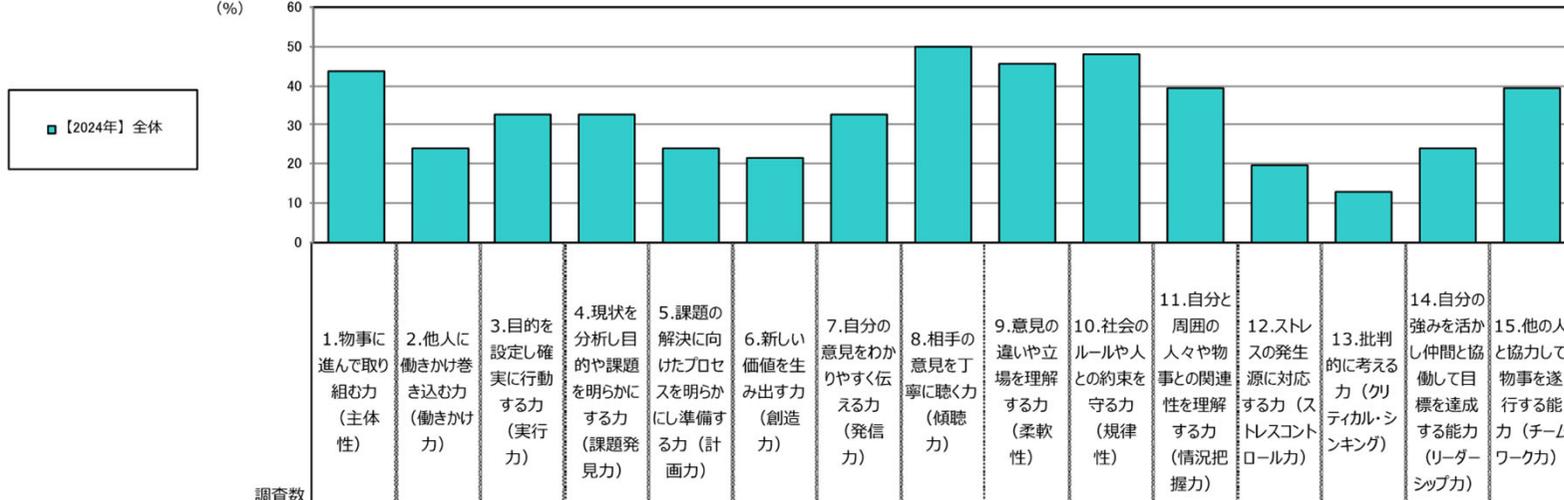
# 卒業生は社会人基礎力がどれくらい身につくのか

5段階評価のうち「身についている」と回答した者の全体および業種ごとの割合を示した。数値（全体）の高い順に以下となった。

- 1位：相手の意見を丁寧に聴く力（傾聴力） 50.0%
- 2位：社会のルールや人との約束を守る力（規律性） 47.8%
- 3位：意見の違いや立場を理解する力（柔軟性） 45.7%
- 4位：物事に進んで取り組む力（主体性） 43.5%
- 5位：自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力（状況把握力）・他の人と協力して物事を遂行する能力（チームワーク力） 39.1%

## Top1(高い)回答

選択肢の最上位を選んだ回答者が全体の何%か算出した数字。  
(%)



【2024年】全体		調査数	1.物事に進んで取り組む力 (主体性)	2.他人に働きかけ巻き込む力 (働きかけ力)	3.目的を設定し確実に行動する力 (実行力)	4.現状を分析し目的や課題を明らかにする力 (課題発見力)	5.課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力 (計画力)	6.新しい価値を生み出す力 (創造力)	7.自分の意見をわかりやすく伝える力 (発信力)	8.相手の意見を丁寧に聴く力 (傾聴力)	9.意見の違いや立場を理解する力 (柔軟性)	10.社会のルールや人との約束を守る力 (規律性)	11.自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力 (状況把握力)	12.ストレスの発生源に対応する力 (ストレスコントロール力)	13.批判的に考える力 (クリティカルシンキング)	14.自分の強みを活かし仲間と協力して目標を達成する能力 (リーダーシップ力)	15.他の人と協力して物事を遂行する能力 (チームワーク力)	
業種	建設	2	—	—	50.0	50.0	—	—	—	50.0	—	—	—	—	—	—	—	—
	製造	4	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	50.0	25.0	50.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0
	電気・ガス・水道	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	情報通信・マスコミ	9	66.7	33.3	22.2	33.3	33.3	22.2	44.4	55.6	33.3	44.4	33.3	11.1	11.1	22.2	33.3	33.3
	運輸	2	100.0	50.0	100.0	50.0	50.0	—	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	50.0	—	50.0	50.0	50.0
	商社・流通	8	37.5	25.0	37.5	37.5	25.0	50.0	50.0	62.5	75.0	75.0	50.0	37.5	25.0	25.0	50.0	50.0
	金融・保険	9	44.4	22.2	44.4	33.3	22.2	22.2	22.2	55.6	44.4	44.4	44.4	22.2	11.1	44.4	55.6	55.6
	不動産・リース	2	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
	サービス	5	40.0	20.0	20.0	40.0	20.0	—	20.0	20.0	60.0	40.0	40.0	—	—	—	—	60.0
	教育	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	公務	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	その他	3	33.3	—	—	—	—	—	—	33.3	33.3	33.3	33.3	—	—	—	—	—

- +10 : 【2024年】全体より10ポイント以上高い数値
- +5 : 【2024年】全体より5ポイント以上高い数値
- 5 : 【2024年】全体より5ポイント以上低い数値
- 10 : 【2024年】全体より10ポイント以上低い数値

※総回答数46、内0は無回答数

数表、グラフの「0」は「」で表示しております。  
また、数表の色分けは全体との比較で付加しておりますが、分析項目の調査数が、「0」の場合、比較はしていないため色分けをしておりません。